

UnifiedGate1005
UnifiedGate505
UnifiedGate404
GUI設定マニュアル

株式会社マイクロリサーチ

Copyright(c) 2011 Micro Research Ltd. , All rights reserved.

UGD110201-05

目次

1. 各部の説明.....	1
1-1. UnifiedGate1005.....	1
1-2. UnifiedGate505.....	2
1-3. UnifiedGate404.....	3
2. 設定機器との接続.....	4
3. 設定を行うパソコンのTCP/IP設定.....	5
4. 設定画面へのログイン.....	6
5. メニュー画面.....	7
6. 接続設定.....	8
6-1. WANポート設定.....	8
6-1-1. PPPoE接続を行う(IPv4).....	9
6-1-2. DHCP接続を行う(IPv4).....	9
6-1-3. IPv4アドレスを指定する(IPv4).....	10
6-1-4. RA(Router Advertisement)で接続する(IPv6).....	11
6-1-5. IPv6アドレスを指定する(IPv6).....	11
6-2. LANポート設定.....	12
6-2-1. LANポートにIPアドレスを設定する.....	12
6-2-2. LANポートを未使用にする.....	13
6-3. 名前解決設定.....	14
6-4. 機能設定.....	15
6-4-1. DDNSクライアント機能.....	15
6-4-2. IPSecトンネル機能(NATトラバーサル).....	15
6-5. 接続先設定.....	16
7. 設定の保存と再起動.....	17
7-1. 設定の保存.....	17
7-2. UnifiedGateの再起動.....	18
8. 状態表示.....	19
8-1. 設定表示.....	19
8-2. ステータス表示.....	20
8-3. ログ表示.....	21
8-3-1. ログ情報の表示方法.....	21
8-3-2. ログ情報の表示例.....	22
9. ログインパスワードの変更.....	23
10. ファームウェアアップデート.....	25
11. FAQ.....	27

1. 各部の説明

本体各部の説明をします。

1-1. UnifiedGate1005

● 前面(モニタランプ)

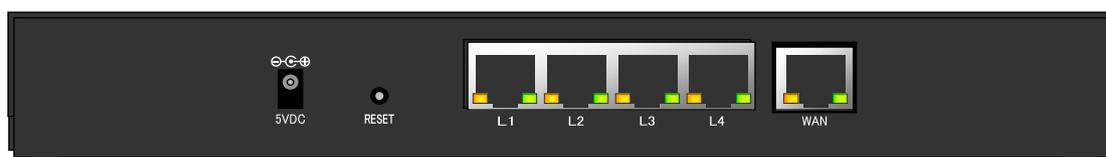


Power : UnifiedGateの電源がONのときに点灯します。

《ステータスランプ》

- 1 : UnifiedGateの起動が完了すると点灯します。
- 2 : WAN側IPアドレスの取得が完了すると点灯します。
(IPアドレス固定設定時は設定完了後、常時点灯状態になります。)
- 3 : 登録した1拠点以上の対置側UnifiedGateと接続状態になると点灯します。
- 4 : 登録した全ての対置側UnifiedGateと接続状態になると点灯します。

● 背面(コネクタ)



5VDC : 電源アダプタ用コネクタです。付属の電源アダプタを接続します。

RESET : UnifiedGateの設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。
電源を落とした(電源アダプタを抜いた)状態で、細い棒等を使ってRESETボタンを押しながら、電源を入れて(電源アダプタを接続して)下さい。
電源投入後、RESETボタンは前面のステータス「2」が点滅するまで押し続けて下さい。
ステータス「2」が点滅したらRESETボタンを離して下さい。

L1~L4 : LAN側ポートです。

WAN : WAN側ポートです。

《LAN/WANポートのLEDについて》

グリーン: 1000Mbpsリンク時の各ポートの状態を表します。

点灯=1000Mbpsでリンク確立中
点滅=データ通信中

オレンジ: 10/100Mbpsリンク時の各ポートの状態を表します。

点灯=10Mbpsもしくは100Mbpsでリンク確立中
点滅=データ通信中

1-2. UnifiedGate505

●前面(モニタランプ)

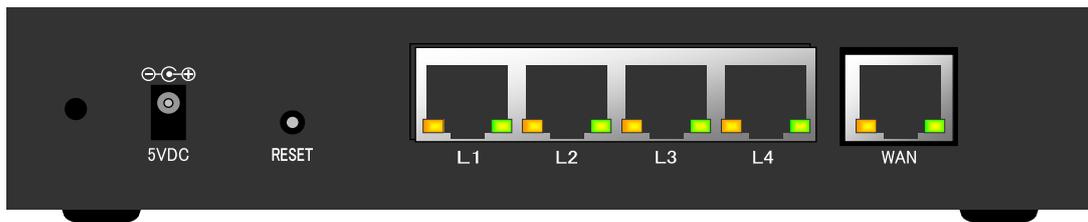


Power : UnifiedGateの電源がONのときに点灯します。

《ステータスランプ》

- 1 : UnifiedGateの起動が完了すると点灯します。
- 2 : WAN側IPアドレスの取得が完了すると点灯します。
(IPアドレス固定設定時は設定完了後、常時点灯状態になります。)
- 3 : 登録した1拠点以上の対置側UnifiedGateと接続状態になると点灯します。
- 4 : 登録した全ての対置側UnifiedGateと接続状態になると点灯します。

●背面(コネクタ)



5VDC : 電源アダプタ用コネクタです。付属の電源アダプタを接続します。

RESET : UnifiedGateの設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。
電源を落とした(電源アダプタを抜いた)状態で、細い棒等を使ってRESETボタンを押しながら、電源を入れて(電源アダプタを接続して)下さい。
電源投入後、RESETボタンは前面のステータス「2」が点滅するまで押し続けて下さい。
ステータス「2」が点滅したらRESETボタンを離して下さい。

L1~L4 : LAN側ポートです。

WAN : WAN側ポートです。

《LAN/WANポートのLEDについて》

オレンジ: 100Mbpsリンク時の各ポートの状態を表します。

点灯=100Mbpsでリンク確立中

点滅=データ通信中

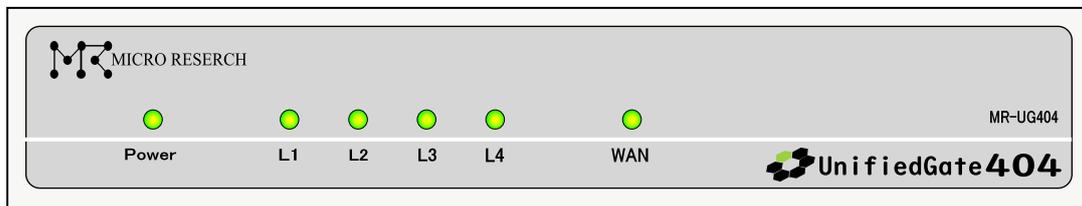
グリーン: 10Mbpsリンク時の各ポートの状態を表します。

点灯=10Mbpsでリンク確立中

点滅=データ通信中

1-3. UnifiedGate404

●前面(モニタランプ)



Power : UnifiedGateの電源がONで、かつ登録されている全ての対置側UnifiedGateと接続が確立すると点灯状態になります。対置側UnifiedGateと接続が確立できない場合、点滅状態になります。

L1~L4、WAN : 各ポートの状態、リンク速度を表します。

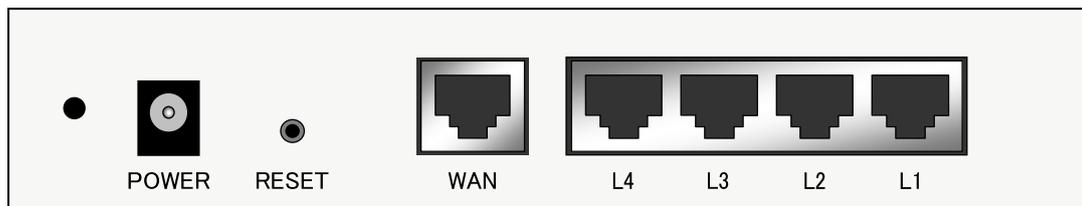
グリーンで点灯 = 100Mbpsでリンク確立中
オレンジで点灯 = 10Mbpsでリンク確立中
点滅 = データ通信中

備考: Powerランプの点灯/点滅について

Powerランプの点灯/点滅状態で、UnifiedGateのステータスを確認することができます。

Powerランプ点灯/点滅状態	ステータス
0.5秒点灯、1.5秒消灯の繰り返し	本体動作可能
0.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し	WANポートIPアドレス取得完了
1.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し	登録した1拠点以上の対置側UnifiedGateと接続状態
点灯状態	登録した全ての対置側UnifiedGateと接続状態

●背面(コネクタ)



POWER : 電源アダプタ用コネクタです。付属の電源アダプタを接続します。

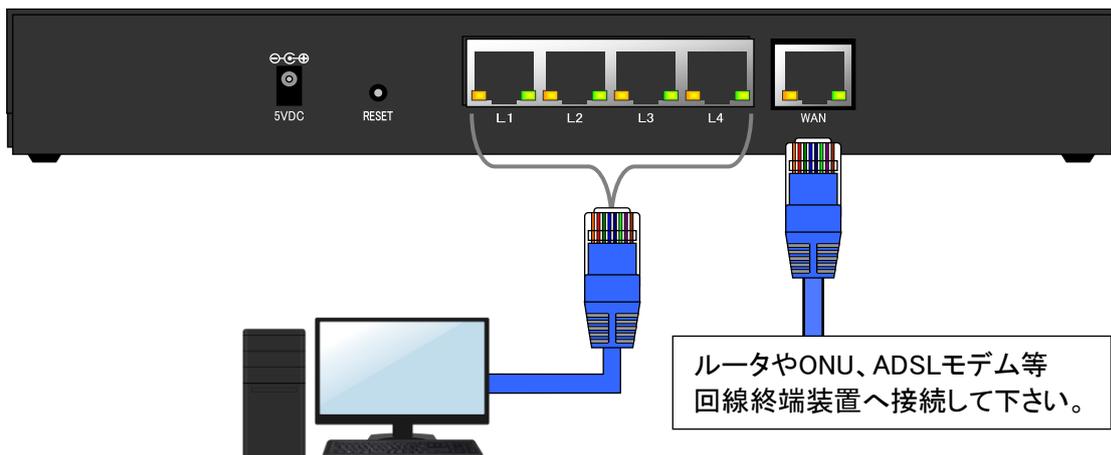
RESET : UnifiedGateの設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。
電源を落とした(電源アダプタを抜いた)状態で、細い棒等を使ってRESETボタンを押しながら、電源を入れて(電源アダプタを接続して)下さい。
RESETボタンは電源投入後、10秒以上押し続けて下さい。

WAN : WAN側ポートです。

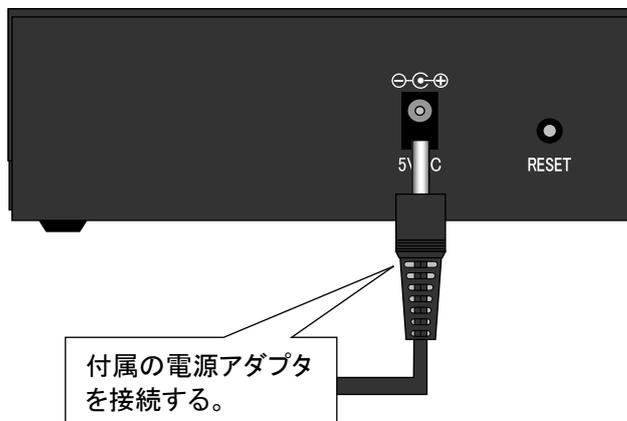
L1~L4 : LAN側ポートです。

2. 設定機器との接続

パソコンとUnifiedGateの”L1～L4”のいずれかをLANケーブルで接続して下さい。
ルータやONU、ADSLモデム等、回線終端装置と”WANポート”をLANケーブルで接続して下さい。



接続が完了しましたら、電源アダプタを接続して下さい。



3. 設定を行うパソコンのTCP/IP設定

設定を行うパソコンのTCP/IP設定はUnifiedGateのIPアドレスに合わせて固定する必要があります。

UnifiedGateが工場出荷設定(LANポートのアドレスが192.168.0.1)の場合は、以下のように設定して下さい。

- ◆IPアドレス: 192.168.0.2～254 (192.168.0.1以外のIPアドレス)
- ◆サブネットマスク: 255.255.255.0
- ◆デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1

各種OSのTCP/IP設定方法については、OS付属のマニュアル等を参照して下さい。

4. 設定画面へのログイン

以下の手順で設定画面へログインして下さい。

- ①WWWブラウザのアドレス欄にUnifiedGateのIPアドレス(工場出荷値は**192.168.0.1**)を入力して下さい。以下の「ログイン画面」が表示されます。



- ②「パスワード」欄に認証パスワード(工場出荷値は**passwd**)を入力して下さい。
- ③[ログイン]ボタンをクリックすると、認証が行われます。
認証に成功すると「UnifiedGate設定TOP」画面が表示されます。



認証に失敗すると、「**パスワードが違います。**」と表示されます。
正しいパスワードを入力して[ログイン]ボタンをクリックして下さい。



注意

GUI設定画面にログインする前に、別のユーザーがGUI設定、もしくはCLI設定でログインしていた場合、「他の Login をキャンセルしました。」と表示されます。その場合、前にログインしていたユーザーはログアウト処理されます。

5. メニュー画面

「メニュー画面」について説明します。



接続設定

UnifiedGateの接続設定を行います。
「6. 接続設定」(次ページ)を参照して下さい。

パスワード変更

設定画面(CLI設定も含む)へのログインパスワードを変更します。
「9. パスワード変更」(23ページ)を参照して下さい。

再起動

UnifiedGateの再起動(リブート)を行います。
「7-2. UnifiedGateの再起動」(18ページ)を参照して下さい。

設定表示

設定内容を表示します。
「8-1. 設定表示」(19ページ)を参照して下さい。

ステータス表示

動作状況を表示します。
「8-2. ステータス表示」(20ページ)を参照して下さい。

ログ表示

ログ情報を表示します。
「8-3. ログ表示」(21ページ)を参照して下さい。

アップデート

UnifiedGateのファームウェアをアップデートします。
「10. ファームウェアのアップデート」(25ページ)を参照して下さい。

ログアウト

設定画面からログアウトします。
ログアウトが完了すると、ログイン画面に戻ります。

6. 接続設定

UnifiedGateの接続設定について説明します。

6-1. WANポート設定

WANポート設定について説明します。

ネットワーク設定		
WANポート IPv4		
接続方式	詳細	
<input type="radio"/> PPPoE	アカウント	<input type="text"/>
	パスワード	<input type="text"/>
	IPアドレス	<input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> DHCP		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>
<input type="radio"/> 未使用		
WANポート IPv6		
接続方式	詳細	
<input type="radio"/> RA		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> 未使用		

- **PPPoE回線で使用する場合 (IPv4)**
→「6-1-1. PPPoE接続を行う (IPv4)」(次ページ)を参照して下さい。
- **DHCPクライアントによりIPアドレスを自動取得する場合 (IPv4)**
→「6-1-2. DHCP接続を行う (IPv4)」(次ページ)を参照して下さい。
- **IPv4アドレスを指定する場合 (IPv4)**
→「6-1-3. IPv4アドレス指定接続を行う (IPv4)」(10ページ)を参照して下さい。
- **RA (Router Advertisement) で接続する場合 (IPv6)**
→「6-1-4. RA接続を行う (IPv6)」(11ページ)を参照して下さい。
- **IPv6アドレスを指定する場合 (IPv6)**
→「6-1-5. IPv6アドレス指定接続を行う (IPv6)」(11ページ)を参照して下さい。

注意	「WANポート IPv4」及び「WANポート IPv6」で「未使用」を選択した場合、WANポートはそれらの通信プロトコルで動作しなくなります。
	LANポートにIPv6アドレスを設定する場合は、CLI設定で行って下さい。設定方法については、「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

6-1-1. PPPoE接続を行う(IPv4)

以下の手順でPPPoE接続の設定を行って下さい。

ネットワーク設定		
WANポート IPv4		
接続方式	詳細	
<input checked="" type="radio"/> PPPoE	アカウント	aaa@bb.cc
	パスワード	12345
	IPアドレス	***.***.***.***
<input type="radio"/> DHCP		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	/
	ゲートウェイ	
<input type="radio"/> 未使用		

- ①「PPPoE」を選択して下さい。
- ②「アカウント」欄にPPPoEアカウントを、「パスワード」欄にPPPoEパスワードを入力して下さい。
- ③固定IPアドレスの割り当てを受けている場合は、「IPアドレス」欄に固定IPアドレスを入力して下さい。
IPアドレスを自動取得する場合は、空欄のままにして下さい。

以上でPPPoE接続設定は完了です。
「6-2. LANポート設定」(12ページ)へ進んで下さい。

6-1-2. DHCP接続を行う(IPv4)

以下の手順でDHCP接続の設定を行って下さい。

ネットワーク設定		
WANポート IPv4		
接続方式	詳細	
<input type="radio"/> PPPoE	アカウント	
	パスワード	
	IPアドレス	
<input checked="" type="radio"/> DHCP		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	/
	ゲートウェイ	
<input type="radio"/> 未使用		

- ①「DHCP」を選択して下さい。

以上でDHCP接続設定は完了です。
「6-2. LANポート設定」(12ページ)へ進んで下さい。

6-1-3. IPv4アドレスを指定する(IPv4)

以下の手順でIPv4アドレス指定の設定を行って下さい。

ネットワーク設定		
WANポート IPv4		
接続方式	詳細	
<input type="radio"/> PPPoE	アカウント	<input type="text"/>
	パスワード	<input type="text"/>
	IPアドレス	<input type="text"/>
<input type="radio"/> DHCP		
<input checked="" type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	192.168.1.1 / 24
	ゲートウェイ	192.168.1.250
<input type="radio"/> 未使用		

- ①「IPアドレス指定」を選択して下さい。
- ②「IPアドレス」欄にIPアドレスとサブネットマスクビット数を入力して下さい。
- ③「ゲートウェイ」欄にゲートウェイIPアドレス入力して下さい。

以上でIPv4アドレス指定の設定は完了です。
「6-2. LANポート設定」(12ページ)へ進んで下さい。

6-1-4. RA (Router Advertisement) で接続する (IPv6)

以下の手順でRA接続の設定を行って下さい。

WANポート IPv6		
接続方式	詳細	
<input checked="" type="radio"/> RA		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	
	ゲートウェイ	
<input type="radio"/> 未使用		

①「RA」を選択して下さい。

以上でRA接続設定は完了です。

「6-2. LANポート設定」(次ページ)へ進んで下さい。

6-1-5. IPv6アドレスを指定する (IPv6)

以下の手順でIPv6アドレス指定の設定を行って下さい。

WANポート IPv6		
接続方式	詳細	
<input type="radio"/> RA		
<input checked="" type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	2001:abcd:abcd:abcd:abcd:abc:aaaa
	ゲートウェイ	2001:abcd:abcd:abcd:abcd:abcd:bbbb
<input type="radio"/> 未使用		

①「IPアドレス指定」を選択して下さい。

②「IPアドレス」欄にIPv6アドレスを入力して下さい。

③「ゲートウェイ」欄にゲートウェイのIPv6アドレス入力して下さい。

注意 IPv6アドレスは「:」(コロン)も含めて入力して下さい。

以上でIPv6アドレス指定の設定は完了です。

「6-2. LANポート設定」(次ページ)へ進んで下さい。

6-2. LANポート設定

LANポートの設定について説明します。

- LANポートにIPアドレスを設定する場合

→「6-2-1. LANポートにIPアドレスを設定する」(次項)を参照して下さい。

- LANポートにIPアドレスを設定しない場合

→「6-2-2. LANポートを未使用にする」(次ページ)を参照して下さい。



LANポートにIPv6アドレスを設定する場合は、CLI設定で行って下さい。
設定方法については、「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

6-2-1. LANポートにIPアドレスを設定する

以下の手順でLANポートにIPアドレスを設定して下さい。

LANポート	
接続方式	詳細
<input type="radio"/> 未使用	
<input checked="" type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス <input type="text" value="192.168.0.1"/> / <input type="text" value="24"/> <input type="checkbox"/> 他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す

①「IPアドレス指定」を選択して下さい。

②「IPアドレス」欄にIPアドレスとサブネットマスクビット数を入力して下さい。
工場出荷値は「192.168.0.1/24」です。

③他の拠点からLANポートに対してのアクセスを禁止する場合、
「他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す」にチェックを入れて下さい。

以上でLANポートの設定は完了です。

- ダイナミックDNSクライアント機能を使用する場合

→「6-3. 名前解決設定」(14ページ)へ進んで下さい。

- ダイナミックDNSクライアント機能を使用しない場合

→画面下の[次へ]ボタンをクリックして下さい。

「6-4. 機能設定」(15ページ)へ進んで下さい。

6-2-2. LANポートを未使用にする

注意	本設定を行うと、LANポートから設定ができなくなります。 その場合、WANポートから設定を行って下さい。
	WANポートから設定を行う場合は、CLI設定コマンドの「ipf」、「ui」の設定値に注意して下さい。これらの設定が正しく行われていない場合、WANポートから設定を行うことはできません。
	これらのコマンドについては、「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。
	WANポートへのアクセスを拒否した状態で、LANポートを未使用にしてしまった場合は、設定初期化作業が必要となります。 「Q.全ての設定を工場出荷値に戻したい」(31ページ)を参照して下さい。
	WANポートからの設定を許可した場合でも、WANポートのIPアドレスが不明、あるいはWANポートの回線接続が確立していない場合は、WANポートからの設定はできませんので注意して下さい。

以下の手順でLANポートを未使用に設定して下さい。

LANポート	
接続方式	詳細
<input checked="" type="radio"/> 未使用	
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス <input type="text" value="192.168.0.1"/> / <input type="text" value="24"/>
	<input type="checkbox"/> 他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す

①「未使用」を選択して下さい。

以上でLANポートの設定は完了です。

- **ダイナミックDNSクライアント機能を使用する場合**
→「6-3. 名前解決設定」(次ページ)へ進んで下さい。
- **ダイナミックDNSクライアント機能を使用しない場合**
→画面下の[次へ]ボタンをクリックして下さい。
「6-4. 機能設定」(15ページ)へ進んで下さい。

6-3. 名前解決設定



ダイナミックDNSサーバーとして動作させる場合、CLI設定で「sever on」コマンドを実行する必要があります。
詳しくは「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

以下の手順で名前解決設定を行って下さい。

名前解決 (DDNSクライアント/IPSec ID)

自ホスト名 UnifiedGate

UnifiedGate設定TOP < - 戻る 次へ - > 機能設定

①「自ホスト名」欄にUnifiedGateに設定するホスト名をして入力下さい。



自ホスト名で使用可能な文字列は、半角英数字、「-」(ハイフン)、「.」(ドット)のみです。これら以外の文字列は使用できません。

②[次へ]ボタンをクリックして下さい。

以上で名前解決設定は完了です。

「6-4. 機能設定」(次ページ)へ進んで下さい。

6-4. 機能設定

6-4-1. DDNSクライアント機能

機能設定	
機能	詳細
DDNSクライアント機能	<input checked="" type="radio"/> DDNSサーバーに接続しない <input type="radio"/> DDNSサーバーに接続する サーバーIPアドレス <input type="text"/>

- **ダイナミックDNSクライアント機能を使用しない場合**
「DDNSサーバーに接続しない」を選択して下さい。
- **ダイナミックDNSクライアント機能を使用する場合**
「DDNSサーバーに接続する」を選択して、「サーバーIPアドレス」欄にダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを入力して下さい。
- **ダイナミックDNSサーバーとして動作させる場合**
「DDNSサーバーに接続する」を選択して、「サーバーIPアドレス」欄にWANポートIPアドレスを入力して下さい。



ダイナミックDNSサーバーとして動作させる場合、CLI設定で「sever on」コマンドを実行する必要があります。
詳しくは「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

6-4-2. IPSecトンネル機能(NATトラバース)

トンネルモードをIPSecで動作させる場合の、暗号種類と事前共有鍵を設定して下さい。



トンネルモードをEtherIPで動作させる場合は、本設定は必要ありません。
[次へ]ボタンをクリックして「接続先設定」へ進んで下さい。

IPSecトンネル機能 (NATトラバース)	暗号種類 <input checked="" type="radio"/> IPSec(AES/SHA-1) <input type="radio"/> UDP(暗号化無効)
	事前共有鍵 <input type="text" value="passphrase"/>
ネットワーク設定 < - <input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="次へ"/> - > 接続先設定	

- **IPSec(AES/SHA-1)**
鍵交換通信の暗号にAESを、ハッシュ関数にSHA-1を使用します
- **UDP(暗号化無効)**
鍵交換通信の暗号化を無効にし、ハッシュ関数を使用しません。



上記以外の暗号種類を設定する場合は、CLI設定で行って下さい。
詳しくは「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

- **事前共有鍵**
事前共有鍵を入力して下さい。
事前共有鍵は必ず対置側UnifiedGateと一致するように設定して下さい。

以上で機能設定は完了です。

「6-5. 接続先設定」(次ページ)へ進んで下さい。

6-5. 接続先設定

以下の手順で接続先設定を行って下さい。



接続先設定は必ず対置側UnifiedGateと合致するように設定して下さい。

接続先設定		
<input type="button" value="削除"/>	EtherIP(peer)	***.***.***.111(IPアドレス)
<input type="button" value="削除"/>	EtherIP(peer)	UnifiedGate-A(ホスト名)
<input type="button" value="削除"/>	EtherIP(peer)	UnifiedGate-B(ホスト名)
<input type="button" value="追加"/>	<input type="radio"/> EtherIP(add peer) <input type="radio"/> IPsecセンター拠点に接続(add initiate) <input type="radio"/> IPsecクライアント拠点に接続(add respond)	接続先IPアドレスもしくはホスト名 <input type="text"/>
機能設定 <- <input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

①トンネルモードを選択して、対置側UnifiedGateのIPアドレスもしくはホスト名を設定下さい。

●EtherIP(add peer)

「EtherIP」(RFC 3378)で接続する場合に選択して下さい。

●IPsecセンター拠点に接続(add initiate)

IPsecセンター拠点に接続する(設定しているUnifiedGateがIPsecクライアント拠点になる)場合に選択して下さい。

●IPsecクライアント拠点に接続(add respond)

IPsecクライアント拠点に接続する(設定しているUnifiedGateがIPsecセンター拠点になる)場合に選択して下さい。

●接続先IPアドレスもしくはホスト名

接続先のIPアドレスもしくはホスト名を入力して下さい。



ホスト名で使用可能な文字列は、半角英数字、「-」(ハイフン)、「.(ドット)のみです。これら以外の文字列は使用できません。

<<IPsecを使用する場合の注意点>>

IPsecは弊社独自仕様です。

UnifiedGate以外のIPsec機器とは接続できませんので注意して下さい。

IPsecを使用する場合は、「事前共有鍵設定」(15ページ)が必須です。

「事前共有鍵」は対置側UnifiedGateと一致するものを入力して下さい。

IPsecで接続を行う場合は、必ず「IPsecセンター拠点」と「IPsecクライアント拠点」の組み合わせで接続して下さい。

「IPsecセンター拠点」同士、「IPsecクライアント拠点」同士の組み合わせでは接続できませんのでご注意下さい。

②左側の[追加]ボタンをクリックすると、入力したIPアドレス(またはホスト名)が登録されます。

[削除]ボタンをクリックすると、登録した内容がリストから削除されます。

以上で接続先設定は完了です。

「7. 設定の保存と再起動」(次ページ)へ進んで下さい。

7. 設定の保存と再起動

設定の保存と再起動方法を説明します。

7-1. 設定の保存

以下の手順でUnifiedGateの設定を保存して下さい。

- ① [保存]ボタンをクリックして下さい。

接続先設定		
削除	EtherIP(peer)	***.***.***.111(IPアドレス)
削除	EtherIP(peer)	UnifiedGate-A(ホスト名)
削除	EtherIP(peer)	UnifiedGate-B(ホスト名)
追加	<input type="radio"/> EtherIP(add peer)	接続先IPアドレスもしくはホスト名 <input type="text"/>
	<input type="radio"/> IPsecセンター拠点に接続(add initiate)	
	<input type="radio"/> IPsecクライアント拠点に接続(add respond)	
機能設定 <- 戻る 保存 キャンセル		



[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定内容は保存されずに「UnifiedGate設定TOP」画面(②の画面)へ戻ります。

- ②「UnifiedGate設定TOP」画面に戻ると保存完了です。

	Copyright(c) 2010 Micro Research Ltd. All rights reserved.
UnifiedGate設定TOP	
接続設定	
パスワード変更	
再起動	
設定表示	
ステータス表示	
ログ表示	
アップデート	
ログアウト	



設定変更後は必ずUnifiedGateの再起動(次ページ)を行って下さい。
再起動を行わないと設定内容は動作に反映されません。

以上で設定の保存は完了です。

「7-2. UnifiedGateの再起動」(次ページ)へ進んで下さい。

7-2. UnifiedGateの再起動



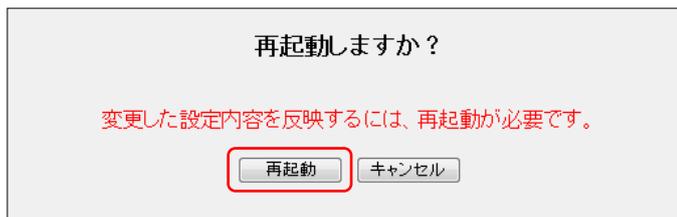
設定変更後は必ずUnifiedGateの再起動を行って下さい。
再起動を行わないと設定内容は動作に反映されません。

以下の手順でUnifiedGateの再起動を行って下さい。

①「再起動」をクリックして下さい。

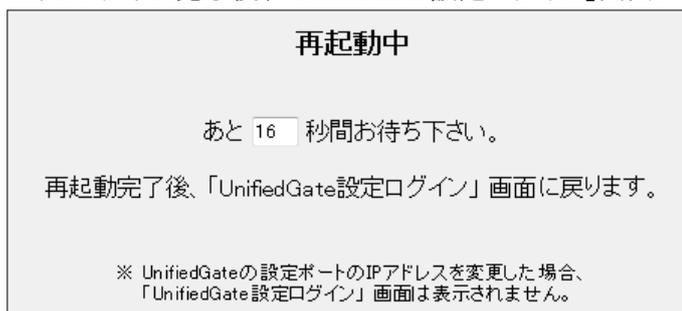


②以下の画面が表示されますので[再起動]ボタンをクリックして下さい。



③以下のカウントダウン画面が表示されます。

カウントダウン完了後、「UnifiedGate設定ログイン」画面に戻ると再起動完了です。



LANポートのIPアドレスを変更した場合は、「UnifiedGate設定ログイン」画面に戻らずに「ページが表示されません」等のエラーメッセージが表示されます。
パソコンのTCP/IP設定を「変更したUnifiedGateのIPアドレス」に合わせて設定変更してから、WWWブラウザのアドレス欄に変更したIPアドレスを入力して、設定画面にログインし直して下さい。

以上でUnifiedGateの再起動は完了です。

8. 状態表示

UnifiedGateの状態表示について説明します。

設定表示

設定内容を表示します。

「8-1. 設定表示」(次項)を参照して下さい。

ステータス表示

動作状況を表示します。

「8-2. ステータス表示」(次ページ)を参照して下さい。

ログ表示

ログ情報を表示します。

「8-3. ログ表示」(21ページ)を参照して下さい。

8-1. 設定表示

設定内容の表示方法について説明します。

①UnifiedGateの設定画面へログインして下さい。

※設定画面へのログイン方法については「4. 設定画面へのログイン」(6ページ)を参照して下さい。

②「設定表示」をクリックして下さい。



③設定内容が一覧表示されます。



[戻る]ボタンをクリックすると②の画面に戻ります。

8-2. ステータス表示

動作状況の表示方法について説明します。

①UnifiedGateの設定画面へログインして下さい。

※設定画面へのログイン方法については「4. 設定画面へのログイン」(6ページ)を参照して下さい。

②「ステータス表示」をクリックして下さい。



③「ステータス表示」画面が表示されます。

```
ステータス表示

UnifiedGate Rev.5.32 [ UnifiedGate1005 ]
-- peer --
ip4 ***,***,***,** e:0 r:0 t:0 m:7
peer UnifiedGate-A(***,***,***,**) e:0 r:0 t:0 m:7
peer UnifiedGate-B(***,***,***,**) e:0 r:0 t:0 m:7
-- mac --
00:10:38:xx:xx:xx - WAN r:0 t:0
00:10:38:xx:xx:xx - LAN r:0 t:0
-- dns --
```

peer : 対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)と、そのUnifiedGateとの送受信パケット数、マルチキャストパケット数等を表示します。

e : エラーパケット数(Error)
r : 受信パケット数(Receive)
t : 送信パケット数(Transmit)
m : マルチキャストパケット数(Multicast)

mac : UnifiedGateが学習しているMACアドレステーブルを表示します。

dns : ダイナミックDNSサーバが保持しているFQDN情報を表示します。

nic : WANポート及び、LANポートの情報を表示します。

ip filter : ファイアウォールの設定値と動作状況を表示します。

arp : UnifiedGateが学習しているARPテーブルを表示します。

[戻る]ボタンをクリックすると②の画面に戻ります。

注意

動作状況は「ステータス表示」をクリックした時点までの情報が表示されます。リアルタイムでは表示されませんので、最新情報を表示したい場合は[戻る]ボタンでTOP画面に戻り再度「ステータス表示」画面を表示しなおして下さい。

8-3. ログ表示

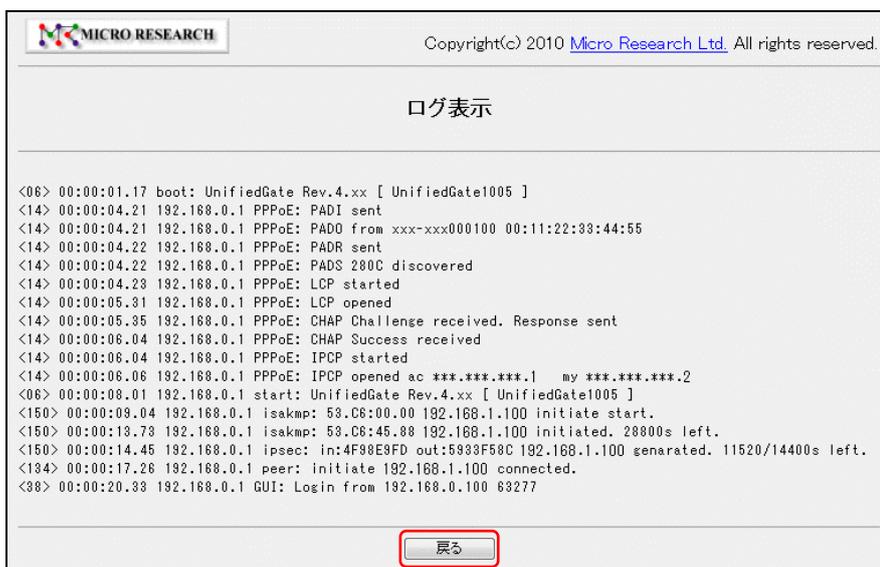
ログ情報について説明します。

8-3-1. ログ情報の表示方法

- ① UnifiedGate の設定画面へログインして下さい。
※設定画面へのログイン方法については「4. 設定画面へのログイン」(6ページ)を参照して下さい。
- ② 「ログ表示」をクリックして下さい。



- ③ 「ログ表示」画面が表示されます。



[戻る]ボタンをクリックすると②の画面に戻ります。

注意	ログ情報は「ログ表示」をクリックした時点までのログが表示されます。リアルタイムでは表示されませんので、最新情報を表示したい場合は[戻る]ボタンでメニュー画面に戻り再度「ログ表示」画面を表示しなおして下さい。
	「ログ表示」画面で表示可能な行数は約1000行(64Kbyte)です。ログは表示可能桁数を超えると古いログから消去されます。表示可能桁数以上のログを保存する場合は、「CLI設定マニュアル」を参照してSYSLOGサーバーの設定を行い、SYSLOGソフトウェア等で受信して下さい。

8-3-2. ログ情報の表示例

●DHCP接続(IPアドレス自動取得)

```
<06> 00:00:01.17 boot: UnifiedGate Rev.4.xx [ UnifiedGate1005 ]
<134> 00:00:08.07 dhcp: wan discover 0.0.0.0 48B25420 4
<134> 00:00:08.97 dhcp: wan offered 192.168.1.2/24 gw 192.168.1.1 from 192.168.1.1
<134> 00:00:08.97 dhcp: wan request 192.168.1.2
<134> 00:00:08.98 dhcp: wan bound 192.168.1.2/255.255.255.0 gw 192.168.1.1 from 192.168.1.1 lease 86400
<150> 00:00:09.04 isakmp: 84.1E:00.00 :: initiate start.
<06> 00:00:12.01 start: UnifiedGate Rev.4.xx [ UnifiedGate1005 ]
<150> 00:00:38.07 dnsc: query UnifiedGate-A. 192.168.1.100 from wan 192.168.1.100
<150> 00:00:40.00 dnsc: update UnifiedGate-B is 192.168.1.2. success from wan 192.168.1.100
<150> 00:01:10.07 dnsc: query UnifiedGate-A. 192.168.1.100 from wan 192.168.1.100
<150> 00:01:13.82 isakmp: CD.4F:00.00 192.168.1.100 initiate start.
<150> 00:01:14.00 isakmp: 84.1E:00.00 :: give up.
<150> 00:01:17.14 isakmp: CD.4F:C9.2F 192.168.1.100 initiated. 28800s left.
<150> 00:01:17.99 ipsec: in:140E62D6 out:3ECD1BBC 192.168.1.100 generated. 11520/14400s left.
<134> 00:01:22.04 peer: initiate UnifiedGate-A(192.168.1.100) connected.
<38> 00:08:54.18 GUI: Login from 192.168.0.100 53121
```

- ① WANポートがIPアドレス/サブネットマスク「192.168.1.2/255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイ「192.168.1.1」を自動取得した。
- ② ダイナミックDNSサーバー「192.168.1.100」が、ホスト名「UnifiedGate-B」のIPアドレスを「192.168.1.2」に更新した。
- ③ IPsecセンター拠点「UnifiedGate-A」(IPアドレス: 192.168.1.100)と接続した。

●PPPoE接続(IPアドレス自動取得)

```
<06> 00:00:01.17 boot: UnifiedGate Rev.4.xx [ UnifiedGate1005 ]
<14> 00:00:04.21 PPPoE: PADI sent
<149> 00:00:05.06 dnsc: query UnifiedGate-A. 'no response' from wan 192.168.1.3
<14> 00:00:05.21 PPPoE: PADI sent
<149> 00:00:06.06 dnsc: query UnifiedGate-A. 'no response' from wan 192.168.1.3
<14> 00:00:06.21 PPPoE: PADI sent
<14> 00:00:08.21 PPPoE: PADI sent
<14> 00:00:08.21 PPPoE: PADO from localhost.localdomain 00:11:22:33:44:55
<14> 00:00:08.21 PPPoE: PADR sent
<14> 00:00:08.22 PPPoE: PADS 0004 discovered
<14> 00:00:08.22 PPPoE: LCP started
<14> 00:00:09.23 PPPoE: LCP opened
<14> 00:00:09.23 PPPoE: CHAP Challenge received. Response sent
<14> 00:00:09.24 PPPoE: CHAP Success received
<14> 00:00:09.24 PPPoE: IPCP started
<14> 00:00:09.24 PPPoE: IPCP opened ac 192.168.1.1 my 192.168.1.2
<06> 00:00:12.01 start: UnifiedGate Rev.4.xx [ UnifiedGate1005 ]
<150> 00:00:13.08 isakmp: AA.DD:00.00 :: initiate start.
<150> 00:00:38.06 dnsc: query UnifiedGate-A. 192.168.1.3 from wan 192.168.1.3
<150> 00:00:40.00 dnsc: update UnifiedGate-B is 192.168.1.2. success from wan 192.168.1.3
<150> 00:01:10.06 dnsc: query UnifiedGate-A. 192.168.1.3 from wan 192.168.1.3
<150> 00:01:17.86 isakmp: BE.39:00.00 192.168.1.3 initiate start.
<150> 00:01:18.00 isakmp: AA.DD:00.00 :: give up.
<150> 00:01:21.18 isakmp: BE.39:B9.F7 192.168.1.3 initiated. 28800s left.
<150> 00:01:22.00 ipsec: in:5573D90C out:20D24F15 192.168.1.3 generated. 11520/14400s left.
<134> 00:01:26.08 peer: initiate UnifiedGate-A(192.168.1.3) connected.
<38> 00:01:30.66 GUI: Login from 192.168.0.100 55312
```

- ① PPPoE接続を開始した。
- ② PPPoE認証に成功した。
- ③ WANポートがIPアドレス「192.168.1.2」を自動取得した。
- ④ ダイナミックDNSサーバー「192.168.1.3」が、ホスト名「UnifiedGate-B」のIPアドレスを「192.168.1.2」に更新した。
- ⑤ IPsecセンター拠点「UnifiedGate-A」(IPアドレス: 192.168.1.3)と接続した。

9. ログインパスワードの変更

ログインパスワードの変更方法について説明します。



ログインパスワードは厳重に管理して下さい。
ログインパスワードが不明な場合、一切の設定ができなくなります。

以下の手順でログインパスワードを変更して下さい。

- ①UnifiedGateの設定画面へログインして下さい。
※設定画面へのログイン方法については「4. 設定画面へのログイン」(6ページ)を参照して下さい。
- ②「パスワード変更」をクリックして下さい。



- ③「パスワード変更」画面が表示されます。

- ④「パスワード」欄に新しいログインパスワードを入力して下さい。
確認のため「パスワード再入力」欄に同じパスワードを入力して下さい。



パスワードは半角英数字63文字以内で設定して下さい。
記号は使用しないで下さい。

- ⑤[保存]ボタンをクリックして下さい。

<次ページへ進んで下さい>

⑥「UnifiedGate設定TOP」画面に戻りますので、UnifiedGateの再起動を行って下さい。



UnifiedGateの再起動方法については、「7-2. UnifiedGateの再起動」(18ページ)を参照して下さい。

10. ファームウェアアップデート

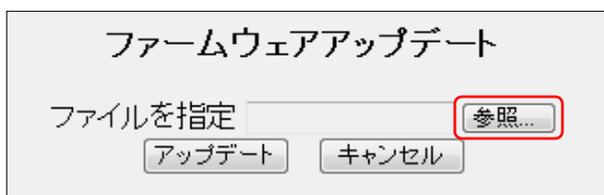
UnifiedGateのファームウェアのアップデート方法について説明します。

以下の手順でファームウェアのアップデートを行って下さい。

- ①UnifiedGateの設定画面へログインして下さい。
※設定画面へのログイン方法については「4. 設定画面へのログイン」(6ページ)を参照して下さい。
- ②「アップデート」をクリックして下さい。



- ③「ファームウェアアップデート」画面が表示されます。
[参照]ボタンをクリックして下さい。



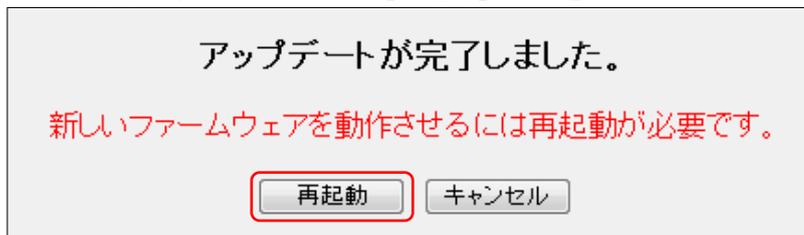
- ④アップデートファイルを選択して下さい。
- ⑤アップデートファイル名が表示されていることを確認して、[アップデート]ボタンをクリックして下さい。アップデートが開始されます。



アップデート中は、アップデートを行っているパソコンで他の作業を行わないで下さい。

<次ページへ進んで下さい。>

⑥以下の画面が表示されますので[再起動]ボタンをクリックして下さい。



⑦カウントダウンが終了し、「UnifiedGate設定ログイン」画面に戻りましたらアップデートは完了です。

11. FAQ

Q. LANポート側から設定画面にログインできない。

A. 以下を確認して下さい。

- ◆LANポートのIPアドレスを工場出荷値(192.168.0.1)から変更していませんか？
パソコンのTCP/IP設定を「変更したUnifiedGateのIPアドレス」に合わせて設定変更してから、WWWブラウザのアドレス欄に変更したIPアドレスを入力して、設定画面にログインし直して下さい。
- ◆パソコンのTCP/IP設定は正しく行われていますか？
設定画面にログインするパソコンのIPアドレスは、LANポートのIPアドレスに合わせて設定して下さい。
「3. 設定を行うパソコンのTCP/IP設定」(5ページ)を参照して下さい。
- ◆LANポートを未使用(IPアドレスを設定しない)にしていませんか？
未使用にしている場合は、WANポートから設定を行って下さい。

Q. 他の拠点から設定画面にログインできない。

A. 以下を確認して下さい。

- ◆「他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す」設定になっていませんか？
「他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す」設定にした場合、他の拠点から設定画面へはアクセスできなくなります。
「6-2-1. LANポートにIPアドレスを設定する」(12ページ)を参照して下さい。
- ◆LANポートを未使用(IPアドレスを設定しない)にしていませんか？
未使用にしている場合は、WANポートから設定を行って下さい。

Q. WANポートから設定画面にログインできない。

A. 以下を確認して下さい。

- ◆WANポートの回線接続は確立していますか？
WANポートのIPアドレスが不明、あるいはWANポートの回線接続が確立していない場合、WANポートからは設定できません。
- ◆WANポートへのアクセスを制御するCLI設定コマンドの「ipf」、「ui」が正しく設定されているか確認して下さい。
これらの設定が正しく行われていない場合、WANポートから設定を行うことはできません。
これらのコマンドについては、「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

Q. 対置側UnifiedGateと接続できない。(PPPoE接続の場合)

A. ログ情報を確認して下さい。(21ページ参照)

◆「**CHAP: Failure received**」と表示される場合

PPPoEの認証に失敗しています。

「6-1-1.PPPoE接続を行う場合」(9ページ)で行った認証情報の入力に誤りがないか確認して下さい。

◆「**PPPoE: PADI sent**」を繰り返している場合

WANポートの配線が正しくされているか確認して下さい。

配線に問題が無い場合は、PPPoE回線に問題が無いか回線事業者等に確認して下さい。

◆Peer接続に関するログが表示されない場合(EtherIP接続時)

- ・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。
対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。
- ・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。
「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。
- ・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。
「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

◆「**isakmp: ###.###.###.### :: give up.**」と表示された場合(IPSec接続時)

- ・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。
対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。
- ・IPSecの暗号種類が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。
「6-4-2.IPSecトンネル機能(NATトラバーサル)」(15ページ)を参照して下さい。
- ・IPSecの事前共有鍵が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。
「6-4-2.IPSecトンネル機能(NATトラバーサル)」(15ページ)を参照して下さい。
- ・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。
「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。
- ・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。
「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

◆「**dnsc: update ##### no response from ***.***.***.*****」と表示された場合

※「#####」はホスト名、「***.***.***.***」はダイナミックDNSサーバーのIPアドレスです。

ダイナミックDNSサーバーが応答していません。

設定したダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを確認して下さい。

「6-4-1.DDNSクライアント機能」(15ページ)を参照して下さい。

Q. 対置側UnifiedGateと接続できない。(DHCP接続の場合)

A. ログ情報を確認して下さい。(21ページ参照)

◆「**DHCP wan: discover**」を繰り返している場合

DHCPサーバーが応答していません。

WANポートの配線が正しくされているか確認して下さい。

配線に問題が無い場合は、WAN回線に問題が無いのか回線事業者等に確認して下さい。

◆Peer接続に関するログが表示されない場合 (EtherIP接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

◆「**isakmp: ##.##.##.## :: give up.**」と表示された場合 (IPSec接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・IPSecの暗号種類が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「6-4-2.IPSecトンネル機能(NATトラバーサル)」(15ページ)を参照して下さい。

・IPSecの事前共有鍵が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「6-4-2.IPSecトンネル機能(NATトラバーサル)」(15ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

◆「**dnsc: update ##### no response from *.*.*.*.*.***」と表示された場合

※「#####」はホスト名、「*.*.*.*.*」はダイナミックDNSサーバーのIPアドレスです。

ダイナミックDNSサーバーが応答していません。

設定したダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを確認して下さい。

「6-4-1.DDNSクライアント機能」(15ページ)を参照して下さい。

Q. 対置側UnifiedGateと接続できない。(IPアドレス指定接続の場合)

A. ログ情報を確認して下さい。(21ページ参照)

◆WANポートの配線が正しくされているか確認して下さい。

◆IPアドレス設定、ゲートウェイ設定が正しく行われているか確認して下さい。

「6-1-3. IPv4アドレスを指定する場合 (IPv4)」(10ページ)を参照して下さい。

◆Peer接続に関するログが表示されない場合 (EtherIP接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

◆「isakmp: ###.###.###.### :: give up.」と表示された場合 (IPSec接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・IPSecの暗号種類が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「6-4-2. IPSecトンネル機能 (NATトラバーサル)」(15ページ)を参照して下さい。

・IPSecの事前共有鍵が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「6-4-2. IPSecトンネル機能 (NATトラバーサル)」(15ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「6-5.接続先設定」(16ページ)を参照して下さい。

◆「dnsc: update ##### no response from ***.***.***.***」と表示された場合

※「#####」はホスト名、「***.***.***.***」はダイナミックDNSサーバーのIPアドレスです。

ダイナミックDNSサーバーが応答していません。

設定したダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを確認して下さい。

「6-4-1. DDNSクライアント機能」(15ページ)を参照して下さい。

Q. ステータス4ランプが点灯しない。(UnifiedGate1005/UnifiedGate505)

A. ステータス4ランプは、登録した対置側UnifiedGateが全て接続されないと点灯状態になりません。

複数の対置側UnifiedGateを登録した場合は、いずれかの対置側UnifiedGateと接続できていません。

「Q.対置側UnifiedGateと接続できない。」を参照して、対策を行って下さい。

Q. Powerランプが点滅する。(UnifiedGate404)

A. Powerランプは、登録した対置側UnifiedGateが全て接続されないと点灯状態になりません。

複数の対置側UnifiedGateを登録した場合は、いずれかの対置側UnifiedGateと接続できていません。

「Q.対置側UnifiedGateと接続できない。」を参照して、対策を行って下さい。

備考:Powerランプの点灯/点滅について	
Powerランプの点灯/点滅状態で、UnifiedGateのステータスを確認することができます。	
Powerランプ点灯/点滅状態	ステータス
0.5秒点灯、1.5秒消灯の繰り返し	本体動作可能
0.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し	WANポートIPアドレス取得完了
1.5秒点灯、0.5秒消灯の繰り返し	登録した1拠点以上の対置側UnifiedGateと接続状態
点灯状態	登録した全ての対置側UnifiedGateと接続状態

Q. ログインパスワードを忘れた。

A. 初期化作業が必要となります。

「全ての設定を工場出荷値に戻したい」(次々項)を参照して下さい。

Q. LANポートとWANポートのIPアドレスが不明で設定画面が開けない。

A. 初期化作業が必要となります。

「全ての設定を工場出荷値に戻したい」(次項)を参照して下さい。

Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい。

A. 以下の手順で初期化作業を行って下さい。

●UnifiedGate1005/UnifiedGate505の場合

電源を落とした(電源アダプタを抜いた)状態で、本体背面のRESETボタンを細い棒等を使って押しながら、電源を入れて(電源アダプタを接続して)下さい。

電源投入後、RESETボタンは前面のステータス「2」が点滅するまで押し続けて下さい。

ステータス「2」が点滅したらRESETボタンを離して下さい。

●UnifiedGate404の場合

電源を落とした(電源アダプタを抜いた)状態で、本体背面のRESETボタンを細い棒等を使って押しながら、電源を入れて(電源アダプタを接続)して下さい。

RESETボタンは電源投入後、10秒以上押し続けて下さい。

10秒経過したらしたらRESETボタンを離して下さい。

株式会社マイクロリサーチ

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-10

UnifiedGateの技術的サポートや修理については、
お買い求めの販売代理店へご相談下さい。